

幌別小学校だより

登別市立幌別小学校

学校だより 第 11 号

令和7年1月22日

幌別小学校教育目標

- すすんで学びよく考える子
- 互いに助けあい思いやる子
- 丈夫な体でたくましく生きぬく子

(昭和62年3月改訂)

3学期のスタートにあたって

～違いを受け入れ共に歩む力を目指して～

校長 松田周一

1月14日(火)より、3学期がスタートしました。久しぶりに子どもたちの元気な顔を見ることができ、教職員一同、安心しております。改めて、保護者やご家族の皆様、そして地域の皆様へ心より感謝申し上げます。

さて、3学期始業式では、「他者との違いを認め、相手の気持ちや立場を想像する力を身に付けることが、自分の未来につながる」という内容の話をしました。この話は、令和6年度の保護者アンケートの結果をもとに考えたものです。

昨年、保護者の皆様から、「児童に身に付けさせたい資質・能力」と「教育活動で重要だと思うこと」についてご意見をいただきました。その結果、「資質・能力」のトップは「人間関係を築く力」であり、「教育活動で重要だと思うこと」では「豊かな心の育成」が多数を占めました。これらは、子どもたちの将来を考えるうえで非常に重要な要素であり、社会人として納得できる内容です。

これからの社会では、人種や性別、年齢などの外見的な違いだけでなく、宗教や価値観、性格、嗜好など内面的な違いを持つ人々と出会う機会がますます増えていきます。豊かな未来を築くためには、これらの違いを受け入れ、相手の思いを理解し、共に歩む姿勢が必要です。これこそが「人間関係を築く力」であると考えます。

相手の立場や願いに思いをはせ、その気持ちに寄り添いながら双方向のコミュニケーションをとり、友人との温かな関係を構築する経験をさせることが我々の願いです。そして、この態度こそが、子どもたちがこれから直面する社会の変化に対応し、未来を切り拓く力となるのです。

子どもたちに、豊かな未来社会を構築できる力を身に付けさせることは、学校だけではなく社会全体の使命だと考えております。保護者や地域の皆様と連携し、教職員一同が一丸となって、これらの力の育成を目指して教育活動を進めてまいります。今年もどうぞよろしくお願いたします。

【保護者アンケートから (30%以上)】

①身に付けさせて欲しい資質・能力

- 人間関係を築く力 81.1%
- 各教科の基礎的な力 62.2%
- 自分の考えを表現する力 60.1%
- 善悪を判断する力 49.0%
- 自ら学ぼうとする意欲 49.0%
- 物事を粘り強くやり抜く力 42.0%
- 社会生活に必要な常識 36.4%

②幌別小の教育活動で重要だと思うこと

- 豊かな心の育成 88.1%
- 安心・安全な学校づくり 65.7%
- 学力向上 62.2%
- いじめ対策 56.6%
- 体力向上 44.8%